

小牧市地域公共交通会議

平成28年4月1日設置

1. 直近の第三者評価の活用・対応状況

当協議会では、これまで第三者評価を受けておりません。

2. アピールポイント

○小牧市地域公共交通網形成計画（基本方針案）の策定

平成28・29年度の2箇年をかけて、小牧市地域公共交通網形成計画を策定します。

この計画の策定にあたっては、市民アンケートや利用者ヒアリング・アンケート調査のほか、中央道桃花台バス停利用者や、企業・教育機関、企業の従業員に対するアンケート調査、さらには、市内6地区において公共交通地域懇談会を開催し、市民や公共交通の利用者など、様々な立場の方から意見を聴取し、きめ細かくニーズの把握を行いました。

これら各種調査を踏まえ、小牧市地域公共交通網形成計画で定める基本的な方針については、小牧市総合交通計画における基本理念・将来像を継承しながら整理し、新たな課題にも対応していくこととしました。

○こまき巡回バス等の公共交通利用促進

こまき巡回バスの再編については、平成25年度より、市民アンケート等の各種調査や、市内6地区において各2回ずつ公共交通地域懇談会を開催するなど、多くの市民や利用者などの声を聞きながら運行ルートやバス停などの検討を行い、平成27年4月及び平成28年4月の2回に分け実施しました。その結果、平成26年度の8コース8台から、平成28年度は19コース18台での運行となり、市内全域において、各居住地から半径500m以内にバス停が設置（民間路線バスのバス停含む）され、1時間に1本程度の運行を開始するなど、市内公共交通の利便性が大幅に向上しました。

なお、今年度はこまき巡回バス等の公共交通利用促進のため、老人会の会合の場で出前講座を開催したり、公共交通利用促進協議会と国際交流協会、交通事業者が協力し、外国人向けバス乗り方教室を開催するなど、様々な形でPRを実施しました。

こまき巡回バスの再編と公共交通利用促進の取り組みなどにより、特にこまき巡回バスの年間利用者数は、再編前である平成26年度の約41万人から、再編後である今年度は60万人を超える見込みであり、市内公共交通機関の利用者、とりわけバス利用者の増加に寄与しました。